

活動における注意

●他人の車に乗る際の注意

- ・社用車のセレナ・ノア（8人乗りの大きい車）と軽トラック以外は、個人の車を善意で利用させてくれていることを忘れないでください
- ・特に車を持ったことがない人には、どれだけ車を大切にしているか想像しづらいと思いますが、ちょっとした傷で数万～十数万の修理費がかかる場合も多々あります（もし車を傷付けた場合は自己の責任で弁償となります）
- ・服や荷物が軽く当たるだけで傷付く場合もあるため、乗る場合には細心の注意を払いましょう（他人の車は、自宅の車に乗る時のように何も意識せずに乗らないようにしましょう）
- ・雨の日や川遊び後に乗る場合には事前にしっかりと体を拭き、シートに川の水がついたり、泥のついた靴でマットを汚すことのないように注意してください
- ・以下のようなことに注意しましょう
 - ードアを開けた時に隣の車にぶつける（指でドアを保護して当たっても傷付かないようにする）
 - ー外からドアを開ける際、持ち手をつかむ時に爪が当たる（持ち手を乱暴につかまない）
 - ー車に乗り込む時に足や荷物がドア周辺に当たる（乗り込む時が一番傷付けやすいので注意する）
 - ートランクに荷物を載せる際に荷物やベルト等が車体に当たる
 - ー座席に足を載せる（靴を脱いでいてもやめましょう）

特に緑色部分を傷付けやすいので注意！



●運転する際の注意

- ・子どもを乗せている時は保護者が同乗していても問題のないような運転を心がける（保護者がいる前では特に丁寧に運転する）
- ・時間に遅れそうな場合や急いでいる場合でも安全第一で運転しましょう（キャンプで遅れが出ようが事故するより100倍マシです）
- ・加入している任意保険に他車運転特約が付帯しているか必ず確認してください（特約がない場合や、任意保険に加入していない場合は人の送迎は不可です）
- ・子どもは本当に何でも親に話すので、「車に乗ってジェットコースターみたいで楽しかった！」等と言われることのないように注意しましょう（運転は普通にしている、口で盛り上げるだけで騒ぐ場合があります）
- ・「スピード出し過ぎ」「運転が荒い」と言われたらしっかりと否定する（子どもは運転のことが分からないため、制限速度で走っていてもスピード出し過ぎと言われることもよくあります）
- ・はるの山の村の管理棟～創作棟間の砂利道はマンホールのコンクリート枠が飛び出していて、パンクが二度起きているため気を付けましょう
- ・はるの山の村から15分圏内は地元住民に目を付けられることのないよう注意して運転し、集落を通過する際は20～30km程度でゆっくりと運転しましょう
- ・軽トラックで荒い運転するなど遊ばないようにしてください

●就寝時の注意

- ・男性は男性スタッフ部屋または男の子ども部屋、女性スタッフは女性スタッフ部屋または女の子ども部屋で寝るようにしてください
- ・異性の子ども部屋やスタッフ部屋で寝た場合は、そのシーズンの交通費・日当等の現金支給はなしとなるので注意してください（寝かしつけ程度であれば問題ありません）

●プライベートでの注意

- ・キャンプで仲良くなり、プライベートで食事や遊びに行くこともあると思いますが、成人（大学生・社会人など）が未成年の異性と1対1で出かけることは禁止です。ルールを破った場合には成人側のみ今後の活動参加をお断りします（成人が分別を持って判断するべきであり、未成年側は不問にします）
- ・いろいろなケースがあると思いますが、異性交遊については相手の親にそのことを堂々と言えるかどうかで判断してください（高校生同士や18歳の高校生と19歳の社会人など年齢差がほぼない場合、複数人の場合は問題ないと思います）
- ・成人と未成年の異性交遊には明確にいけないこととは言えず賛否分かれるところがありますが、グレーなことは排除すべきという考えに基づいて、未成年（およびその保護者）が安心して活動できる環境作りと、無用なリスクを避けるためご協力をお願いします
- ・上記範囲内でのスタッフ交流（異性交遊・恋愛含む）は全く問題ありません